

塗布型で高密度のデジタル記録を実現

登録番号	第 00316 号		
登録年月日	2021(令和3)年9月14日	登録区分	第一種(大量生産品等同様のものが複数あるもの)

名称 (型式等)	コンピュータ用塗布型磁気テープ 富士フイルムDLT tape IV (型式名: データカートリッジ DLTIV FB D)
所在地	神奈川県小田原市 富士フイルム株式会社 神奈川工場 小田原サイト
所有者 (管理者)	富士フイルム株式会社 アドバンストファンクショナルマテリアルズ開発センター
製作者(社)	富士写真フイルム株式会社 (現: 富士フイルム株式会社)
製作年	1996年
初出年	1994年
選定理由	本資料は薄層磁性層を持つ塗布型磁気テープである。1990年代、コンピュータの普及に伴い記録メディアの高密度化が急務となった。高密度デジタル記録には磁性層膜厚のサブミクロン化が必須であり、蒸着型の磁気テープでのみ達成出来たが量産性や信頼性に課題があった。一方、当時の塗布型テープの磁性層は3ミクロン程度であった。富士フイルムは、機能性非磁性層の上に磁性薄層を設ける新たな層構成とその塗布技術を開発し、従来の約1/10である0.3ミクロンの磁性層を実現した。さらに潤滑剤の添加や支持体凹凸の平滑化などにより信頼性も向上させた。これにより安価に市場へ提供でき、コンピュータ時代に磁気テープが大きな役割を果たせるようになった。この技術はその後、他テープメーカーも追従するデファクト技術となり、現在でも踏襲されている。本資料はこの技術を搭載した初期のテープとして重要である。
登録基準	ーロー (国際的に見て日本の科学技術発展の独自性を示すもの)

公開・非公開	非公開
写真	
その他参考となるべき事項	